

備考 3) 用語解説

用語	解説
幼保小連携	すべての子どもたちが、乳幼児期における子どもの自発的、創造的な遊びや体験を通じた育ちと学びを基礎としながら、安心感を持って小学校生活に円滑に移行し、自己を発揮し成長していくために、就学前施設と小学校が連携すること。
全国学力・学習状況調査	文部科学省が、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行う調査。調査対象は、小学校（義務教育学校前期）第6学年、中学校（義務教育学校後期）第3学年。
義務教育学校	小学校課程から中学校課程まで、義務教育9年間を一貫して行う学校。柔軟な教育課程を編成することが可能。
福山100NEN教育アンケート	福山100NEN教育がめざす「子ども主体の学び」の推進に向けた取組の充実を図ることを目的として、教職員を取り巻く環境や日々の業務内容、それらに対する意識等を把握し、授業・学校経営等の改善に用いる調査。（年2回実施）
カリキュラム・マップ	育成する資質・能力と学ぶべき教育内容の全体像を見渡すことができる教育計画。学習内容の順次性、各教科等間、各教科と行事等との関連性を図示するもの。
学力の伸びを把握する調査	福山市教育委員会が、市内の児童生徒の学力や学習に関する意識等の経年変化を把握し、各校が、一人一人の学力の伸びを個別の指導・支援や授業改善に活用することを目的に行う調査。調査対象は、小学校（義務教育学校前期）第4学年から中学校（義務教育学校後期）第3学年まで。
学校関係者評価	学校教育の質的向上に向けて、中学校区の保護者及び地域住民等から構成される評価委員が、各学校が示す目標や取組等に対する自己評価に対して評価を行うこと。
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）	学校・家庭・地域が、連携協働して児童生徒の成長を支援するため、地域住民等が、当事者として学校運営に参画できるよう、保護者や地域住民等で構成される学校運営協議会を設置した学校。
ICT教育機器	児童生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすく説明するため、教員が授業等で活用するICT機器のこと。本市においては、プロジェクター、電子黒板、実物投影機、タブレット端末を整備するほか、それらを接続する無線LAN環境を整備。
通学路交通安全プログラム	通学路の安全確保の取組を行うため、2014年（平成26年）に策定したプログラム。小学校ごとに教育委員会、学校、道路管理者、警察署及び関係団体等による合同点検を2年に1回実施し、危険個所の抽出を行う。必要な対策案の作成、実施及び効果検証により、通学路の安全性の向上を図る。
きらりルーム	児童生徒のペースで学習・体験活動を行う教室以外の「学びの場」として設置したスペース。専任の担任等が家庭訪問を行い、一人一人の状況に応じた取組を進めている。

用 語	解 説
就学援助	<p>経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、次の費用の一部を援助する制度。</p> <p>学校給食費，学用品費，通学用品費，校外活動費，修学旅行費，入学準備費，医療費（むし歯など特定の疾患に限る。）</p>
指定（文化財）	<p>文化財保護法や地方自治体の条例により，保護の対象として文化財を指定する制度。有形文化財，無形文化財，民俗文化財，記念物の4分野があり，学術的・歴史的に貴重なもの。</p>
登録（文化財）	<p>指定制度よりも緩やかな保護措置を講じるもので，国や地方自治体が指定していない文化財のうち，保存と活用が必要なものを国が登録する。厳しい規制がある指定文化財と違い，届出制と指導・助言・勧告を基本として，所有者による自主的な保護を図り，指定制度を補完するもの。</p>
日本遺産	<p>文化庁が認定した，地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリー。地域に点在する遺産を「面」として活用し，発信することで，地域活性化を図ることを目的としている。</p>
福山市歴史文化基本構想	<p>地域に存在する文化財を，指定，未指定にかかわらず幅広く捉えて，的確に把握し，文化財をその周辺環境まで含めて，総合的に保存・活用するための構想。本市が文化財保護行政を進める基本的なマスタープランとなるもの。</p>

備考 4) 参考数値

区分	数値	内 訳
幼稚園	22園	市立:9園(休園を除く。) 私立:13園
認定こども園	51園	市立:2園 私立:49園
小学校	73校	市立:70校(休校を除く。) 私立:3校
中学校	37校	市立:31校 国立:1校 私立:5校
義務教育学校	2校	市立
高等学校	22校	市立:1校 国立:1校 県立:13校(定時制, 通信制含む) 私立:7校(通信制含む)
特別支援学校	3校	県立
(市立小学校)児童数	23, 996人	うち特別支援学級:1, 895人
学級数	1, 119学級	うち特別支援学級:312学級
通級指導教室数	24教室	情緒:18教室(14校) 言語:6教室(5校)
(市立中学校)生徒数	10, 966人	うち特別支援学級:505人
学級数	401学級	うち特別支援学級:95学級
通級指導教室数	5教室	ADHD(5校)
福山市フリースクール かがやき	3教室	教育相談センター, 旧伊勢丘幼稚園, 松永コミュニティセンター内に 各1か所
公民館等	79館	公民館:72館 交流館:7館
図書館	7館	

※1 基準日は、次のとおり

- ・学校等施設は、2022年(令和4年)4月1日現在
- ・児童生徒数, 学級数, 通級指導教室数は、2022年(令和4年)5月1日現在
- ・その他は、2023年(令和5年)3月31日現在

※2 義務教育学校1～6年生は小学校の児童数・学級数に、7～9年生は中学校の生徒数・学級数に含む。

※3 就学前教育・保育施設としては、幼稚園, 保育所・園, こども園のほか, 児童福祉法に基づき, 市町村が認可する保育事業で, 保育に欠ける0歳児～2歳児が対象の地域型保育事業がある。